



水痘(水ぼうそう)予防接種について



●水痘(水ぼうそう)ってどんな病気？

水痘(水ぼうそう)は、水痘—帯状疱疹ウイルスの直接接触、飛沫感染あるいは空気感染によって感染します。感染力の強い病気です。5歳までに約80%の子どもがかかると言われています。

潜伏期間は通常13～17日で、水痘(水ぼうそう)の主な症状は、発疹・発熱で、発疹はかゆみを伴います。合併症としては、稀に肺炎、気管支炎、肝炎、小脳炎などがあります。健康な小児の場合は、一般に軽症で済みますが、中には遷延化あるいは重症化し、入院が必要となったり死亡することもあります。

●水痘(水ぼうそう)ワクチンの対象年齢・接種回数・方法は？

・対象年齢：1歳～3歳未満

・接種回数・方法：2回(1歳～1歳3か月の間に1回目を接種し、1回目の接種から6か月～1年の間隔をあけて2回目を接種するのが望ましい)

●水痘(水ぼうそう)ワクチンの副反応について

水痘(水ぼうそう)ワクチン接種後に、軽微な発熱・発疹および局所の発赤・腫脹がみられることがあります。その他、稀に接種直後から翌日にかけて、過敏反応(発疹、じんましん、紅斑、発熱等)があらわれることがあります。重大な副反応としては、稀にアナフィラキシー、急性血小板減少性紫斑病があります。気になる症状があるときは、医師にご相談ください。

●次の方は接種を受けないでください

- ①明らかに発熱している方(通常は37.5度を超える場合)
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③このワクチンに含まれる成分でアナフィラキシー(通常、接種後30分以内に起こる呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと)を起こしたことがある方
- ④その他、かかりつけの医師に予防接種を受けない方がよいと言われた方

●次の方は接種前に医師にご相談ください

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ②過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しんなどアレルギーを疑う症状のみられた方
- ③過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある方
- ④過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- ⑤このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方



●ワクチン接種後の注意

- ①接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③接種後1～3週間は体調に注意しましょう。また、接種後腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは、医師にご相談ください。
- ④このワクチンの接種後は、違う種類のワクチンを接種する場合には、27日以上の間隔をあける必要があります。
- ⑤接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが接種部位をこすることはやめましょう。
- ⑥接種当日は激しい運動は避けてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

●予防接種による健康被害救済制度について

市が実施する予防接種によって引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときには、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。

※「予防接種と子どもの健康」および「予防接種に関するQ&A集」より抜粋

<問合せ先>

アイアイ親子サポートセンター(鯖江市健康づくり課)

鯖江市水落町2丁目30-1 アイアイ鯖江内

TEL 52-1138